参　考　資　料

令　和　８　年　１　１　月　２　日
第231回新宿区都市計画審議会資料

新宿区総合計画等について

新宿区 新基本構想の検討

資料１－１

現行基本構想策定（平成19年）以降、新宿区を取り巻く環境は大きく変化しており、行政課題は複雑化・横断化しています。こうした状況を踏まえ、現行基本構想の理念を尊重しつつ、今後の新宿区が目指すべきまちの姿や基本理念に関して、区民の皆さまからいただいたご意見の中から主なキーワードを整理しました。

町会・自治会・地区協議会

区民等アンケート
（18歳以上、子ども）

若者会議

既設審議会

しんじゅくトーク

健康、安全・安心、子育て、
多文化共生、多様性、
みどり、住みやすい、愛着、
美しいまち、デジタル、
憩い、交流、共生、
持続可能性、利便性、自治、
地域、つながり、活性化、
人権、住民参加、
平和、歴史・文化

現行の基本構想

めざすまちの姿

『新宿力』で創造する、
やすらぎとにぎわいのまち

基本理念

区民が主役の
自治を創ります

一人ひとりを人と
して大切にする社
会を築きます

次の世代が夢と
希望を持てる社
会をめざします

基本構想審議会

防災・減災、ウェルビーイング、
若者、社会参加、多文化共生、
デジタル、成長・成熟、
生涯、スポーツ、健康、交流、
つながり、心の豊かさ、
区民自治、人権尊重、
平和都市

区民討議会

安全・安心で誰もが
落ち着いて暮らせるまち

緑と快適さがあり、
住んでいて心地よいまち

多様な人が支えあい、
共に生きるまち

便利で魅力にあふれ、
誇りを持てるまち

区民意識調査

① 現行の3つの基本理念で、次の基本構想にも引き継がれていくべきものと思う割合

「次の世代が夢と希望を持てる社会をめざします」（69.2%）
「一人ひとりを人として大切にする社会を築きます」（54.1%）
「区民が主役の自治を創ります（34.9%）

② ご意見
新宿力、やすらぎ、にぎわい、包摂性、公平性、次世代

基本政策・個別施策（1/2）

基本構想審議会・起草部会で検討中

基本政策・個別施策	目指す姿
Ⅰ　新宿の未来への継承と発展	
①安心して子育てできる環境の充実	子ども一人ひとりの権利が尊重され、自己肯定感を持ちながら安心して育ち、学び、自分らしく成長できています。妊娠期から若者になるまで必要なサポートを受けながら、不安や困難を抱えた場合にも孤立することなく、早い段階で支援につながっています。子どもの居場所が確保されるなど、関係する機関や地域がそれぞれ連携することで、子育て家庭が地域の中で見守られ、安心して子どもを生み育てることができています。
②未来を担う子どもたちの『生きる力』を育む教育の推進	子どもたちが自ら学び、考え、他者と関わりながら、行動できる「生きる力」を身に付けています。どの子どもにも学ぶ機会が確保されるほか学校・家庭・地域とのつながりの中で、新宿への愛着と誇りを持ちながら成長できています。
③若者はじめとした誰もがいきいきと活躍できる地域づくりの推進	誰もが人として尊重され、性別や年齢、背景にかかわらず、自分らしい生き方や働き方を選び、力を発揮できています。多様な価値観が認められ、暴力や差別のない関係の中で安心して暮らせています。若者も、地域や社会とのつながりの中で主体的に活躍するとともに、つまずきや困難を経験した場合にも再び社会とつながり、自分の役割や希望を持って生活できています。
④地域で活動する様々な主体がささえあう地域コミュニティの推進	町会・自治会をはじめ、地域で活動する様々な主体が、地域課題を解決するために参加、協力、連携し、安全・安心で快適な暮らしやすいまちの実現に向け取り組んでいます。 誰もが地域コミュニティの一員として、地域の実状や課題に関心を持ち、町会・自治会をはじめとする地域活動を通して、皆で考え、行動し、解決することで、持続可能な地域コミュニティが形成されています。国籍や民族等の異なる人々が互いの文化的違いを認め、理解し、地域で共に安心して生活することのできる多文化共生の地域社会となっています。
⑤平和都市の推進	「新宿区平和都市宣言」の趣旨に基づき、戦争の悲惨さや平和の尊さについて、区民一人ひとりの理解が深まっています。戦争の記憶や教訓が世代を超えて受け継がれ、子どもや若者を含む幅広い世代が戦争の記憶と平和の大切さを学び続けています。
Ⅱ　誰もが自分らしく暮らせるまち新宿	
①自分らしく生涯にわたり心身ともに健康で暮らせる取組の推進	日常生活の中で自然に健康づくりを実践できる環境が整備され、年齢や背景に関係なく、こころも身体も健やかに暮らしています。自分らしく暮らし続けていることが実感できる状態となっています。
②誰もが生涯にわたり学習・スポーツ活動などを楽しむ環境の充実	誰もが生涯を通じて学びやスポーツに親しみ、楽しみながら人とのつながりを大切にしています。年齢や障害の有無、生活状況にかかわらず、多様な学びや交流の機会に触れられ、心身ともに豊かな生活を送ることができています。学びやスポーツを通じて人と人とのつながりが育まれ、交流の輪が広がるとともに、地域の活力の創出と人々の生きがいづくりにつながっています。
③互いに支え合いながら暮らし続けられる地域包括ケアシステムの推進	高齢者が住み慣れた地域で、健康づくりや社会参加を続けながら、自分らしい暮らしを保てています。認知症になったり、支援や介護が必要になっても孤立せず、本人の意思が尊重された生活が続き、その人らしい最期が迎えられるよう地域の中で支え合っています。
④障害者がいきいきと暮らし続けられる環境の整備	障害の重度化、障害者の高齢化や親亡き後を見据えて、障害者が住み慣れた地域で尊厳を持って暮らし続けられています。さらに、障害の有無によって分け隔てられることなく、誰もが生涯にわたって社会参加ができるように、区民が互いに支援し合っています。
⑤セーフティネットの機能強化	障害や疾病、高齢化、失業等による生活困窮、ひきこもりや生きづらさなど様々な状態にあっても、きめ細かな支援を提供するセーフティネットが的確に機能することで、区民一人ひとりが尊重され、地域の中でその人らしく安心して心豊かに暮らし続けられています。
⑥地域での生活を支える取組と総合的な地域福祉の推進	誰もが意欲や能力、状況に応じて社会とのつながりや役割を持ち、地域で安定して暮らしています。働くことと住まうことの両面で生活基盤が保たれ、事情の違いによって暮らしの継続が妨げられにくい状態です。地域で暮らし続けるための土台が確かなものになっています。
Ⅲ　新宿の高度防災都市化と安全安心の強化	
①災害に強い、逃げないですむ安全なまちづくり	地震や水害などの災害による被害が最小限に抑えられ、安全で強靭かつ環境に配慮した持続可能な都市空間が形成されています。地域のつながりと多様な主体の連携のもと、区民が住み慣れた地域で安心して快適に暮らし続けられる「逃げないですむ安全なまち」が実現しています。
②災害に強い体制づくり	地域、事業者、関係機関が連携し、災害時に適切に機能する地域防災体制が構築されています。要配慮者や外国人住民を含む多様な区民が必要な情報や支援を得ながら、誰も取り残されることなく安心して暮らし続けられる環境が整っています。平時からの備えと地域の支え合いにより、災害に強いまちが実現しています。
③感染症などから暮らしを守る体制の強化	感染症や食中毒、アスベストによる健康被害などの危機から区民の生命と健康が守られています。区民一人ひとりに正しい知識や必要な情報が適切に届けられ、平時から予防意識が根づくとともに、発生時にも落ち着いて行動できる環境が整っています。また、医療機関等との連携のもと、都市のにぎわいと公衆衛生上の安全性が両立しています。

基本政策・個別施策（2/2）

基本構想審議会・起草部会で検討中

基本政策・個別施策		目指す姿
Ⅳ　住みやすさ1番の新宿		
	①犯罪のない安全・安心なまちづくり	地域の特性に応じた防犯や安全対策が進み、区民や来街者が安心して過ごせるまちになっています。東京都や警察、地域住民、地域団体、事業者、関係機関が連携し、犯罪や迷惑行為の発生を防ぐ地域ぐるみの取組が定着しています。また、社会の変化に応じた消費者対策が進み、若年層から高齢者まで誰もが必要な情報を得ながら消費者被害を未然に防ぎ、安全・安心に暮らせるまちになっています。
	②地域で安心して生活できる 環境の整備	多様な人々が行き交う新宿において、にぎわいと暮らしやすさが両立し、地域で安心して生活できる環境になっています。地域ごとの特性を踏まえたまちづくりが進み、生活ルールの共有や住環境との調和が図られることで、住む人にも訪れる人にも安全で快適なまちになっています。また、空家等や民泊を含む生活環境上の課題に適切に対応し、誰もが安心して暮らし続けられるまちになっています。
	③綺麗で美しいまちの実現	清潔で美しい街並みが保たれ、区民、事業者、来街者など多様な人々がルールやマナーを共有しながら、快適に過ごしています。繁華街や駅周辺を含め、にぎわいのある都市空間と良好な生活環境が調和し、誰もが安心して歩き、訪れ、楽しめるまちになっています。地域、事業者、行政など多様な主体が協力することで、新宿の魅力と景観が支えられ、きれいで美しいまちであることが実感できています。
	④地球温暖化対策の推進	「ゼロカーボンシティ新宿」の実現に向けた取組が進み、区民や事業者による環境負荷の少ない暮らしや事業活動が定着しています。再生可能エネルギー電力等の導入や省エネルギー化とあわせて、気候変動による影響を受けにくいまちづくりを進めることで、環境への配慮と都市の活力が両立しています。脱炭素と気候変動への適応が一体的に進み、持続可能な「環境都市・新宿」の姿となっています。
	⑤資源循環型社会の構築	ごみの発生が抑えられ、資源が有効に活用される暮らし方や事業活動が地域に根づいています。区民・事業者・行政がそれぞれの役割を果たし、環境負荷の少ない生活様式が広がっています。まちの清潔さと持続可能性を支える資源循環型社会が形成されています。
	⑥誰もが利用しやすい 道路・交通環境の整備	誰もが安全かつ快適に移動できる道路・交通環境が整い、歩行者にもやさしい都市空間が実現しています。道路の機能性、防災性、環境への配慮が両立し、誰もが円滑に移動できる面的・一体的なバリアフリー化が図られ、かつ、地域の実情に合った交通手段も確保されることで、移動の不便さや不安が軽減されています。高齢者をはじめ、住む人も訪れる人も、それぞれのニーズに応じて将来にわたり無理なく安心して移動できる、持続可能な環境が保たれています。
	⑦豊かで美しいみどりの創造と 魅力ある公園等の整備	誰もが身近にみどりや公園に親しみ、安心して憩い、過ごせています。新宿の貴重な水辺やみどりが次世代に受け継がれ、都市の快適性や魅力、防災性にもつながっています。歩きたくなり、立ち寄りたくなる魅力ある都市空間が広がっています。
Ⅴ　多彩なまち新宿の躍進		
	①産業の持続的な発展に向けた支援	新宿の多様な産業が社会経済の変化に対応しながら活力を保ち、新たな価値や雇用を生み出しています。地域資源や人材が生かされ、地域課題の解決にもつながる事業が育っています。産業の厚みと挑戦が、地域経済の持続的な発展を支えています。
	②商店街の魅力向上・活性化の推進	商店街が買い物の場であるだけでなく、交流やにぎわいを生む地域の拠点として機能しています。地域の個性や魅力が保たれ、日常生活を支える存在として親しまれています。人が集い、地域とのつながりが感じられる商店街が維持されています。
	③多彩な文化芸術と歴史を活かした まちの魅力の創造	区民が文化芸術や歴史を身近に感じ、新宿ならではの魅力に触れながら暮らしています。まちの記憶や文化資源が受け継がれ、交流やにぎわい、愛着や誇りにつながっています。文化芸術と歴史が、暮らしの豊かさと都市の魅力を支える基盤になっています。
	④区民の暮らしと調和のとれた 国際観光都市・新宿としての 魅力の向上	商業・文化・歴史・多文化共生・みどりなど新宿の各地域がもつ多様な地域資源がつながり合うことで、区全体の魅力とブランド力が一層高まり、区民も来街者も回遊しながら新宿らしさを実感し、身近な誇りを感じられるまちになっています。特に、歌舞伎町では、個性や魅力と安全・安心、環境美化が調和し、地域住民・事業者・関係機関の連携のもと、訪れる人にも暮らす人にも心地よく、安心して歩き回れる快適な空間が保たれています。
	⑤回遊性と利便性の向上による 魅力的で歩きやすいまちづくり	新宿駅をはじめとする主要駅周辺では、人中心の都市空間への再編と交通結節機能の強化が進み、商業・文化・滞在機能の魅力が周辺地域へ自然に広がっています。官民が連携しながら、回遊性と利便性に優れた歩行者ネットワークが形成され、誰もが歩きたくなる魅力的なまちとなっています。また、年齢、性別、国籍、言語、個人の能力やライフスタイルにかかわらず、すべての人が安心して快適に利用できる生活環境および公共空間が整っています。
	⑥地域特性を活かした持続可能で 魅力ある都市空間づくり	地域の特性や魅力を十分に活かした地域主体のまちづくりにより、人々が住み、働き、学び、遊び、そして世代を超えてつながる都市として、誰もが誇りと愛着がもてるまちになっています。あわせて、歴史的景観や自然景観と調和した個性的で美しい景観に配慮したまち、環境にやさしく災害への対応力を備えた持続可能な都市空間が実現し、誰もが住みたくなる豊かで良好な居住環境が整っています。
Ⅵ　持続可能な区民サービス基盤の強化		
	①行政サービスの強化	区民一人ひとりが必要な手続やサービスを、分かりやすく簡単に利用できています。時間や場所を問わず、自分に合った方法で行政サービスを利用でき、デジタル技術の利便性と対面支援の安心感が両立した行政サービスが広く活用されています。
	②持続可能な行財政運営	社会経済状況の変化や多様化・複雑化する行政需要に対し、民間活力やICT・データを活用しながら、効果的・効率的で質の高い区民サービスが安定的に提供されています。 また、地方分権改革や自治権拡充に向けた取組が進み、専門性と政策形成能力を備えた職員と組織により、持続可能な区政運営が実現しています。
	③公共施設マネジメントの推進	公共施設の必要な機能と安全性が将来にわたって確保され、区民が安心して利用できています。財政負担との均衡を図りながら、時代の変化や利用ニーズに応じた施設配置や機能の最適化が実現しています。また、持続可能な公共サービスを支える施設基盤が確立しています。

基本計画（基本政策・個別施策）と都市マスタープラン（骨格の考え方）の対応表

基本計画及び都市マスタープランを一体的に作成するために、考え方を共有しながら各個別施策及び各めざす都市の骨格の考え方を設定しました。「●」がついている個別施策が、主にめざす都市の骨格の考え方を共有しているものです。

基本政策・個別施策	目指す姿	骨格の考え方	1 まちに集うすべての人の暮らしを豊かにする都市		2 まちに関わる人々が誇りと愛着をもち、自ら育てていく都市			3 安全・安心に暮らし続けられる都市			4 社会の変化に柔軟に対応できる持続可能な都市			5 まちの個性や記憶を活かし躍進する多彩な都市			
			①誰もが快適に過ごし、豊かさを実感できる多様な都市空間の整備を進めます。	②官民の公共的空間などを活用し、多様な活動を創出するまちづくりを進めます。	①多様な主体がそれぞれの役割を担い、協働しながらまちづくりを進めます。	②地域で活動する人々が担い手となってまちを運営し、価値を高める仕組みを作ります。	③住みたいと思う人が将来にわたり暮らし続けられるまちづくりを進めます。	①自然災害や火災などの複合的なリスクに強いまちづくりを進めます。	②災害に強い体制づくりを進め、早期に復興できる仕組みを作ります。	③まちで過ごすすべての人が安心して過ごせるまちづくりを進めます。	①社会動向の変化を柔軟に受け止め対応し、発展し続けるまちづくりを進めます。	②技術革新を積極的に活用したまちづくりを進めます。	③気候変動等の環境課題への対応と、ゼロカーボンシティ新宿の実現を進めます。	①新宿駅周辺から、新たな魅力と価値を生み出し、世界に発信していきます。	②多様なまちの個性や地域資源を活かし、高めるまちづくりを進めます。	③新宿の骨格を形成するまち、道路、みどり、水辺を連携したまちづくりを進めます。	④まちの個性や課題に応じたまちづくり制度を活用します。
Ⅰ 新宿の未来への継承と発展																		
①安心して子育てできる環境の充実	子ども一人ひとりの権利が尊重され、自己肯定感を持ちながら安心して育ち、学び、自分らしく成長できています。妊娠期から若者になるまで必要なサポートを受けながら、不安や困難を抱えた場合にも孤立することなく、早い段階で支援につながっています。子どもの居場所が確保されるなど、関係する機関や地域がそれぞれ連携することで、子育て家庭が地域の中で見守られ、安心して子どもを生み育てることができています。																	
②未来を担う子どもたちの『生きる力』を育む教育の推進	子どもたちが自ら学び、考え、他者と関わりながら、行動できる「生きる力」を身に付けています。どの子どもにも学ぶ機会が確保されるほか学校・家庭・地域とのつながりの中で、新宿への愛着と誇りを持ちながら成長できています。																	
③若者はじめとした誰もがいきいきと活躍できる地域づくりの推進	誰もが人として尊重され、性別や年齢、背景にかかわらず、自分らしい生き方や働き方を選び、力を発揮できています。多様な価値観が認められ、暴力や差別のない関係の中で安心して暮らせています。若者も、地域や社会とのつながりの中で主体的に活躍するとともに、つまずきや困難を経験した場合にも再び社会とつながり、自分の役割や希望を持って生活できています。																	
④地域で活動する様々な主体がささえあう地域コミュニティの推進	町会・自治会をはじめ、地域で活動する様々な主体が、地域課題を解決するために参加、協力連携し、安全・安心で快適な暮らしやすいまちの実現に向け取り組んでいます。 誰もが地域コミュニティの一員として、地域の実状や課題に関心を持ち、町会・自治会をはじめとする地域活動を通して、皆で考え、行動し、解決することで、持続可能な地域コミュニティが形成されています。国籍や民族等の異なる人々が互いの文化的違いを認め、理解し、地域で共に安心して生活することのできる多文化共生の地域社会となっています。		●		●	●												
⑤平和都市の推進	「新宿区平和都市宣言」の趣旨に基づき、戦争の悲惨さや平和の尊さについて、区民一人ひとりの理解が深まっています。戦争の記憶や教訓が世代を超えて受け継がれ、子どもや若者を含む幅広い世代が戦争の記憶と平和の大切さを学び続けています。																	

基本計画（基本政策・個別施策）と都市マスタープラン（骨格の考え方）の対応表

基本計画及び都市マスタープランを一体的に作成するために、考え方を共有しながら各個別施策及び各めざす都市の骨格の考え方を設定しました。「●」がついている個別施策が、主にめざす都市の骨格の考え方を共有しているものです。

基本政策・個別施策	目指す姿	骨格の考え方	1 まちに集うすべての人の暮らしを豊かにする都市		2 まちに関わる人々が誇りと愛着をもち、自ら育てていく都市			3 安全・安心に暮らし続けられる都市			4 社会の変化に柔軟に対応できる持続可能な都市			5 まちの個性や記憶を活かし躍進する多彩な都市			
			①誰もが快適に過ごし、豊かさを実感できる多様な都市空間の整備を進めます。	②官民の公共的空間などを活用し、多様な活動を創出するまちづくりを進めます。	①多様な主体がそれぞれの役割を担い、協働しながらまちづくりを進めます。	②地域で活動する人々が担い手となってまちを運営し、価値を高める仕組みを作ります。	③住みたいと思う人が将来にわたり暮らし続けられるまちづくりを進めます。	①自然災害や火災などの複合的なリスクに強いまちづくりを進めます。	②災害に強い体制づくりを進め、早期に復興できる仕組みを作ります。	③まちで過ごすすべての人が安心して過ごせるまちづくりを進めます。	①社会動向の変化を柔軟に受け止め対応し、発展し続けるまちづくりを進めます。	②技術革新を積極的に活用したまちづくりを進めます。	③気候変動等の環境課題への対応と、ゼロカーボンシティ新宿の実現を進めます。	①新宿駅周辺から、新たな魅力と価値を生み出し、世界に発信していきます。	②多様なまちの個性や地域資源を活かし、高めるまちづくりを進めます。	③新宿の骨格を形成するまち、道路、みどり、水辺を連携したまちづくりを進めます。	④まちの個性や課題に応じたまちづくり制度を活用します。
Ⅱ　誰もが自分らしく暮らせるまち新宿																	
①自分らしく生涯にわたり心身ともに健康で暮らせる取組の推進	日常生活の中で自然に健康づくりを実践できる環境が整備され、年齢や背景に関係なく、こころも身体も健やかに暮らしています。自分らしく暮らし続けていることが実感できる状態となっています。		●														
②誰もが生涯にわたり学習・スポーツ活動などを楽しむ環境の充実	誰もが生涯を通じて学びやスポーツに親しみ、楽しみながら人とのつながりを大切にしています。年齢や障害の有無、生活状況にかかわらず、多様な学びや交流の機会に触れられ、心身ともに豊かな生活を送ることができています。学びやスポーツを通じて人と人とのつながりが育まれ、交流の輪が広がるとともに、地域の活力の創出と人々の生きがいづくりにつながっています。		●	●													
③互いに支え合いながら暮らし続けられる地域包括ケアシステムの推進	高齢者が住み慣れた地域で、健康づくりや社会参加を続けながら、自分らしい暮らしを保てています。認知症になったり、支援や介護が必要になっても孤立せず、本人の意思が尊重された生活が続き、その人らしい最期が迎えられるよう地域の中で支え合っています。																
④障害者がいきいきと暮らし続けられる環境の整備	障害の重度化、障害者の高齢化や親亡き後を見据えて、障害者が住み慣れた地域で尊厳を持って暮らし続けられています。さらに、障害の有無によって分け隔てられることなく、誰もが生涯にわたって社会参加ができるように、区民が互いに支援し合っています。						●										
⑤セーフティネットの機能強化	障害や疾病、高齢化、失業等による生活困窮、ひきこもりや生きづらさなど様々な状態にあっても、きめ細かな支援を提供するセーフティネットが的確に機能することで、区民一人ひとりが尊重され、地域の中でその人らしく安心して心豊かに暮らし続けられています。						●										
⑥地域での生活を支える取組と総合的な地域福祉の推進	誰もが意欲や能力、状況に応じて社会とのつながりや役割を持ち、地域で安定して暮らしています。働くことと住まうことの両面で生活基盤が保たれ、事情の違いによって暮らしの継続が妨げられにくい状態です。地域で暮らし続けるための土台が確かなものになっています。						●										

基本計画（基本政策・個別施策）と都市マスタープラン（骨格の考え方）の対応表

基本計画及び都市マスタープランを一体的に作成するために、考え方を共有しながら各個別施策及び各めざす都市の骨格の考え方を設定しました。「●」がついている個別施策が、主にめざす都市の骨格の考え方を共有しているものです。

基本政策・個別施策	目指す姿	骨格の考え方	1 まちに集うすべての人の暮らしを豊かにする都市		2 まちに関わる人々が誇りと愛着をもち、自ら育てていく都市			3 安全・安心に暮らし続けられる都市			4 社会の変化に柔軟に対応できる持続可能な都市			5 まちの個性や記憶を活かし躍進する多彩な都市			
			①誰もが快適に過ごし、豊かさを実感できる多様な都市空間の整備を進めます。	②官民の公共的空間などを活用し、多様な活動を創出するまちづくりを進めます。	①多様な主体がそれぞれの役割を担い、協働しながらまちづくりを進めます。	②地域で活動する人々が担い手となってまちを運営し、価値を高める仕組みを作ります。	③住みたいと思う人が将来にわたり暮らし続けられるまちづくりを進めます。	①自然災害や火災などの複合的なリスクに強いまちづくりを進めます。	②災害に強い体制づくりを進め、早期に復興できる仕組みを作ります。	③まちで過ごすすべての人が安心して過ごせるまちづくりを進めます。	①社会動向の変化を柔軟に受け止め対応し、発展し続けるまちづくりを進めます。	②技術革新を積極的に活用したまちづくりを進めます。	③気候変動等の環境課題への対応と、ゼロカーボンシティ新宿の実現を進めます。	①新宿駅周辺から、新たな魅力と価値を生み出し、世界に発信していきます。	②多様なまちの個性や地域資源を活かし、高めるまちづくりを進めます。	③新宿の骨格を形成するまち、道路、みどり、水辺を連携したまちづくりを進めます。	④まちの個性や課題に応じたまちづくり制度を活用します。
Ⅲ 新宿の高度防災都市化と安全安心の強化																		
①災害に強い、逃げないですむ安全なまちづくり	地震や水害などの災害による被害が最小限に抑えられ、安全で強靭かつ環境に配慮した持続可能な都市空間が形成されています。地域のつながりと多様な主体の連携のもと、区民が住み慣れた地域で安心して快適に暮らし続けられる「逃げないですむ安全なまち」が実現しています。							●	●	●	●		●					
②災害に強い体制づくり	地域、事業者、関係機関が連携し、災害時に適切に機能する地域防災体制が構築されています。要配慮者や外国人住民を含む多様な区民が必要な情報や支援を得ながら、誰も取り残されることなく安心して暮らし続けられる環境が整っています。平時からの備えと地域の支え合いにより、災害に強いまちが実現しています。							●	●	●								
③感染症などから暮らしを守る体制の強化	感染症や食中毒、アスベストによる健康被害などの危機から区民の生命と健康が守られています。区民一人ひとりに正しい知識や必要な情報が適切に届けられ、平時から予防意識が根づくとともに、発生時にも落ち着いて行動できる環境が整っています。また、医療機関等との連携のもと、都市のにぎわいと公衆衛生上の安全性が両立しています。																	

基本計画（基本政策・個別施策）と都市マスタープラン（骨格の考え方）の対応表

基本計画及び都市マスタープランを一体的に作成するために、考え方を共有しながら各個別施策及び各めざす都市の骨格の考え方を設定しました。「●」がついている個別施策が、主にめざす都市の骨格の考え方を共有しているものです。

基本政策・個別施策	目指す姿	骨格の考え方	1 まちに集うすべての人の暮らしを豊かにする都市		2 まちに関わる人々が誇りと愛着をもち、自ら育てていく都市			3 安全・安心に暮らし続けられる都市			4 社会の変化に柔軟に対応できる持続可能な都市			5 まちの個性や記憶を活かし躍進する多彩な都市			
			①誰もが快適に過ごし、豊かさを実感できる多様な都市空間の整備を進めます。	②官民の公共的空間などを活用し、多様な活動を創出するまちづくりを進めます。	①多様な主体がそれぞれの役割を担い、協働しながらまちづくりを進めます。	②地域で活動する人々が担い手となってまちを運営し、価値を高める仕組みを作ります。	③住みたいと思う人が将来にわたり暮らし続けられるまちづくりを進めます。	①自然災害や火災などの複合的なリスクに強いまちづくりを進めます。	②災害に強い体制づくりを進め、早期に復興できる仕組みを作ります。	③まちで過ごすすべての人が安心して過ごせるまちづくりを進めます。	①社会動向の変化を柔軟に受け止め対応し、発展し続けるまちづくりを進めます。	②技術革新を積極的に活用したまちづくりを進めます。	③気候変動等の環境課題への対応と、ゼロカーボンシティ新宿の実現を進めます。	①新宿駅周辺から、新たな魅力と価値を生み出し、世界に発信していきます。	②多様なまちの個性や地域資源を活かし、高めるまちづくりを進めます。	③新宿の骨格を形成するまち、道路、みどり、水辺を連携したまちづくりを進めます。	④まちの個性や課題に応じたまちづくり制度を活用します。
Ⅳ 住みやすさ1番の新宿																		
①犯罪のない安全・安心なまちづくり	地域の特性に応じた防犯や安全対策が進み、区民や来街者が安心して過ごせるまちになっています。東京都や警察、地域住民、地域団体、事業者、関係機関が連携し、犯罪や迷惑行為の発生を防ぐ地域ぐるみの取組が定着しています。また、社会の変化に応じた消費者対策が進み、若年層から高齢者まで誰もが必要な情報を得ながら消費者被害を未然に防ぎ、安全・安心に暮らせるまちになっています。									●								
②地域で安心して生活できる環境の整備	多様な人々が行き交う新宿において、にぎわいと暮らしやすさが両立し、地域で安心して生活できる環境になっています。地域ごとの特性を踏まえたまちづくりが進み、生活ルールの共有や住環境との調和が図られることで、住む人にも訪れる人にも安全で快適なまちになっています。また、空家等や民泊を含む生活環境上の課題に適切に対応し、誰もが安心して暮らし続けられるまちになっています。		●				●											
③綺麗で美しいまちの実現	清潔で美しい街並みが保たれ、区民、事業者、来街者など多様な人々がルールやマナーを共有しながら快適に過ごしています。繁華街や駅周辺を含め、にぎわいのある都市空間と良好な生活環境が調和し、誰もが安心して歩き、訪れ、楽しめるまちになっています。地域、事業者、行政など多様な主体が協力することで、新宿の魅力と景観が支えられ、きれいで美しいまちであることが実感できています。				●	●									●	●		
④地球温暖化対策の推進	「ゼロカーボンシティ新宿」の実現に向けた取組が進み、区民や事業者による環境負荷の少ない暮らしや事業活動が定着しています。再生可能エネルギー電力等の導入や省エネルギー化とあわせて、気候変動による影響を受けにくいまちづくりを進めることで、環境への配慮と都市の活力が両立しています。脱炭素と気候変動への適応が一体的に進み、持続可能な「環境都市・新宿」の姿となっています。							●			●		●					
⑤資源循環型社会の構築	ごみの発生が抑えられ、資源が有効に活用される暮らし方や事業活動が地域に根づいています。区民・事業者・行政がそれぞれの役割を果たし、環境負荷の少ない生活様式が広がっています。まちの清潔さと持続可能性を支える資源循環型社会が形成されています。												●					
⑥誰もが利用しやすい道路・交通環境の整備	誰もが安全かつ快適に移動できる道路・交通環境が整い、歩行者にもやさしい都市空間が実現しています。道路の機能性、防災性、環境への配慮が両立し、誰もが円滑に移動できる面的・一体的なバリアフリー化が図られ、かつ、地域の実情に合った交通手段も確保されることで、移動の不便さや不安が軽減されています。高齢者をはじめ、住む人も訪れる人も、それぞれのニーズに応じて将来にわたり無理なく安心して移動できる、持続可能な環境が保たれています。		●													●		
⑦豊かで美しいみどりの創造と魅力ある公園等の整備	誰もが身近にみどりや公園に親しみ、安心して憩い、過ごせています。新宿の貴重な水辺やみどりが次世代に受け継がれ、都市の快適性や魅力、防災性にもつながっています。歩きたくなり、立ち寄りたくなる魅力ある都市空間が広がっています。															●		

基本計画（基本政策・個別施策）と都市マスタープラン（骨格の考え方）の対応表

基本計画及び都市マスタープランを一体的に作成するために、考え方を共有しながら各個別施策及び各めざす都市の骨格の考え方を設定しました。「●」がついている個別施策が、主にめざす都市の骨格の考え方を共有しているものです。

基本政策・個別施策	目指す姿	骨格の考え方	1 まちに集うすべての人の暮らしを豊かにする都市		2 まちに関わる人々が誇りと愛着をもち、自ら育てていく都市			3 安全・安心に暮らし続けられる都市			4 社会の変化に柔軟に対応できる持続可能な都市			5 まちの個性や記憶を活かし躍進する多彩な都市			
			①誰もが快適に過ごし、豊かさを実感できる多様な都市空間の整備を進めます。	②官民の公共的空間などを活用し、多様な活動を創出するまちづくりを進めます。	①多様な主体がそれぞれの役割を担い、協働しながらまちづくりを進めます。	②地域で活動する人々が担い手となってまちを運営し、価値を高める仕組みを作ります。	③住みたいと思う人が将来にわたり暮らし続けられるまちづくりを進めます。	①自然災害や火災などの複合的なリスクに強いまちづくりを進めます。	②災害に強い体制づくりを進め、早期に復興できる仕組みを作ります。	③まちで過ごすすべての人が安心して過ごせるまちづくりを進めます。	①社会動向の変化を柔軟に受け止め対応し、発展し続けるまちづくりを進めます。	②技術革新を積極的に活用したまちづくりを進めます。	③気候変動等の環境課題への対応と、ゼロカーボンシティ新宿の実現を進めます。	①新宿駅周辺から、新たな魅力と価値を生み出し、世界に発信していきます。	②多様なまちの個性や地域資源を活かし、高めるまちづくりを進めます。	③新宿の骨格を形成するまち、道路、みどり、水辺を連携したまちづくりを進めます。	④まちの個性や課題に応じたまちづくり制度を活用します。
V 多彩なまち新宿の躍進																	
①産業の持続的な発展に向けた支援	新宿の多様な産業が社会経済の変化に対応しながら活力を保ち、新たな価値や雇用を生み出しています。地域資源や人材が生かされ、地域課題の解決にもつながる事業が育っています。産業の厚みと挑戦が、地域経済の持続的な発展を支えています。																
②商店街の魅力向上・活性化の推進	商店街が買い物の場であるだけでなく、交流やにぎわいを生む地域の拠点として機能しています。地域の個性や魅力が保たれ、日常生活を支える存在として親しまれています。人が集い、地域とのつながりが感じられる商店街が維持されています。													●	●		
③多彩な文化芸術と歴史を活かしたまちの魅力の創造	区民が文化芸術や歴史を身近に感じ、新宿ならではの魅力に触れながら暮らしています。まちの記憶や文化資源が受け継がれ、交流やにぎわい、愛着や誇りにつながっています。文化芸術と歴史が、暮らしの豊かさと都市の魅力を支える基盤になっています。		●	●													
④区民の暮らしと調和のとれた国際観光都市・新宿としての魅力の向上	商業・文化・歴史・多文化共生・みどりなど新宿の各地域がもつ多様な地域資源がつながり合うことで、区全体の魅力とブランド力が一層高まり、区民も来街者も回遊しながら新宿らしさを実感し、身近な誇りを感じられるまちになっています。特に、歌舞伎町では、個性や魅力と安全・安心、環境美化が調和し、地域住民・事業者・関係機関の連携のもと、訪れる人にも暮らす人にも心地よく、安心して歩き回れる快適な空間が保たれています。		●	●											●	●		●
⑤回遊性と利便性の向上による魅力的で歩きやすいまちづくり	新宿駅をはじめとする主要駅周辺では、人中心の都市空間への再編と交通結節機能の強化が進み、商業・文化・滞在機能の魅力が周辺地域へ自然に広がっています。官民が連携しながら、回遊性と利便性に優れた歩行者ネットワークが形成され、誰もが歩きたくなる魅力的なまちとなっています。また、年齢、性別、国籍、言語、個人の能力やライフスタイルにかかわらず、すべての人が安心して快適に利用できる生活環境および公共空間が整っています。		●	●						●	●	●			●	●	●	●
⑥地域特性を活かした持続可能で魅力ある都市空間づくり	地域の特性や魅力を十分に活かした地域主体のまちづくりにより、人々が住み、働き、学び、遊び、そして世代を超えてつながる都市として誰もが誇りと愛着がもてるまちになっています。あわせて、歴史的景観や自然景観と調和した個性的で美しい景観に配慮したまち、環境にやさしく災害への対応力を備えた持続可能な都市空間が実現し、誰もが住みたくなる豊かで良好な居住環境が整っています。		●	●	●	●	●				●	●			●	●		●

基本計画（基本政策・個別施策）と都市マスタープラン（骨格の考え方）の対応表

基本計画及び都市マスタープランを一体的に作成するために、考え方を共有しながら各個別施策及び各めざす都市の骨格の考え方を設定しました。「●」がついている個別施策が、主にめざす都市の骨格の考え方を共有しているものです。

基本政策・個別施策	目指す姿	骨格の考え方	1 まちに集うすべての人の暮らしを豊かにする都市		2 まちに関わる人々が誇りと愛着をもち、自ら育てていく都市			3 安全・安心に暮らし続けられる都市			4 社会の変化に柔軟に対応できる持続可能な都市			5 まちの個性や記憶を活かし躍進する多彩な都市			
			①誰もが快適に過ごし、豊かさを実感できる多様な都市空間の整備を進めます。	②官民の公共的空間などを活用し、多様な活動を創出するまちづくりを進めます。	①多様な主体がそれぞれの役割を担い、協働しながらまちづくりを進めます。	②地域で活動する人々が担い手となってまちを運営し、価値を高める仕組みを作ります。	③住みたいと思う人が将来にわたり暮らし続けられるまちづくりを進めます。	①自然災害や火災などの複合的なリスクに強いまちづくりを進めます。	②災害に強い体制づくりを進め、早期に復興できる仕組みを作ります。	③まちで過ごすすべての人が安心して過ごせるまちづくりを進めます。	①社会動向の変化を柔軟に受け止め対応し、発展し続けるまちづくりを進めます。	②技術革新を積極的に活用したまちづくりを進めます。	③気候変動等の環境課題への対応と、ゼロカーボンシティ新宿の実現を進めます。	①新宿駅周辺から、新たな魅力と価値を生み出し、世界に発信していきます。	②多様なまちの個性や地域資源を活かし、高めるまちづくりを進めます。	③新宿の骨格を形成するまち、道路、みどり、水辺を連携したまちづくりを進めます。	④まちの個性や課題に応じたまちづくり制度を活用します。
Ⅵ 持続可能な区民サービス基盤の強化																		
①行政サービスの強化	区民一人ひとりが必要な手続やサービスを、分かりやすく簡単に利用できています。時間や場所を問わず、自分に合った方法で行政サービスを利用でき、デジタル技術の利便性と対面支援の安心感が両立した行政サービスが広く活用されています。																	
②持続可能な行財政運営	社会経済状況の変化や多様化・複雑化する行政需要に対し、民間活力やICT・データを活用しながら、効果的・効率的で質の高い区民サービスが安定的に提供されています。 また、地方分権改革や自治権拡充に向けた取組が進み、専門性と政策形成能力を備えた職員と組織により、持続可能な区政運営が実現しています。																	
③公共施設マネジメントの推進	公共施設の必要な機能と安全性が将来にわたって確保され、区民が安心して利用できています。財政負担との均衡を図りながら、時代の変化や利用ニーズに応じた施設配置や機能の最適化が実現しています。また、持続可能な公共サービスを支える施設基盤が確立しています。																	